KINJO MIND

KIND

No.31
Kinjo University
2020.10

◆後援会 活動報告

令和2年度 役員・運営委員紹介
令和元年度 決算・令和2年度 予算
令和2年度 金城大学 学部・学科構成図一覧
令和元年度 金城学園 財務概要

◆大学行事

新入生歓迎プレゼント会
KINJO自宅外学生応援キャンペーン

◆令和元年度 卒業生の進路結果

◆新任・退任教職員紹介

◆新型コロナウイルス感染予防対策について

◆金城学園の建学の精神・金城大学の設立の理念など

金城大学後援会 会報誌【KIND】第31号 令和2年10月発行

後援会 活動報告

令和2年度 役員会・総会報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、皆様の安全等を考慮した結果、役員会、総会は書面表決という形で開催いたしました。

議決案件			
議案		賛成	反対
第1号	令和2年度 役員人事	487	1
第2号	令和元年度 事業報告及び決算報告	487	1
第3号	令和2年度 事業計画及び予算	485	3

議決結果

全ての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

書面表決におきまして、多くの皆様より、労いや感謝の言葉を頂戴し、誠にありがとうございました。事業・予算に対するご意見等につきましては、今後の運営に活かして参りたいと存じます。また、大学に対するご意見等につきましては大学に報告させていただきます。

今後も、本後援会にご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和2年度 役員・運営委員紹介

◆役員◆

- 会　長　髙松 喜与志
- 副会長　富樫 純治、齊藤 圭子
- 会計監事　中筋 正信、岡部 正幸
- 幹　事　田中 克恵、大塚 郁朗、三谷 靖子、丸尾 朝之、猪狩 もとみ、磯 光江、境 美砂子、佐々井 誠、町野 圭亮、宮本 麻衣子、田中 千恵

◆運営委員◆

- 4年生　白崎 弥生、中野 秀和、中平 明美、前田 悟、宮本 文子、安田 久美江
- 3年生　大向 哲、沖野 琴美、髙澤 政人、西川 美代子
- 2年生　瀬戸 就一、柳生 正美

（敬称略）

大学行事

6月17日～19日 新入生歓迎プレゼント会

6月17日（水）、18日（木）、19日（金）の3日間、大学短大学友会合同企画「新入生歓迎プレゼント会」を開催しました。今年は新型コロナウイルスの影響により、一堂に会する新入生歓迎会を変更して、学友会の学生から新入生ひとりひとりへ歓迎プレゼントを手渡しする形態としました。
密を避けるため、学部学科で日程や時間帯を分けて指定し、大学短大合わせて634人の新入生が日光アリーナ前で蛍光ペン等のプレゼントを受取りました。

学友会からのプレゼントを手にした新入生は、対面授業を再開した学生生活の新たなスタートに、ワクワクしている様子でした。新入生の皆さん、ようこそ金城大学へ!!

6月24日 KINJO自宅外学生応援キャンペーン

6月24日（水）、大学短大学友会合同企画「KINJO自宅外学生応援キャンペーン～応援食品で元気に過ごそう!～」を開催しました。新型コロナウイルスの影響により、外出自粛が続き、一人暮らしの学生は、帰省できなかった方など大変苦労をしてきました。そんな学生の皆さんを応援するため、学友会からパスタやカレー、カップラーメン、野菜ジュース、果物ゼリーなどの食品やマスクをお届けしました。

そして、短期大学部ビジネス実務学科フードビジネスコースの専任教員で、フードコーディネーターの資格を持つ越野裕美子准教授が考案した「応援食材を使った簡単レシピ」、保健管理センターからの「一人暮らしで気を付けてほしいこと」も同封しました。

大学短大あわせて380人分を準備し、ひとりひとりへ気持ちを込めて学友会学生から手渡し。応援食品で1日3食しっかりとした食事をとり、このままコロナウイルスに負けず、元気に学生生活を過ごしてください!!

令和元年度 決算 ・ 令和2年度 予算

（単位：円）

収入の部	令和元年度決算	令和2年度予算
会　　費	18,030,000	18,075,000
利　　息	83	100
雑　収　入	0	0
前年度繰越金	3,188,482	3,699,744
合 計	21,218,565	21,774,844

特別会計

（単位：円）

収入の部	令和元年度決算	令和2年度予算
特別会計繰入金	1,000,000	1,000,000
利　　息	428	490
雑　収　入	0	0
前年度繰越金	6,002,363	7,002,791
合計	7,002,791	8,003,281

支出の部	令和元年度決算	令和2年度予算
予　備　費	--	8,003,281
合計	--	8,003,281

令和元年度特別会計決算（収入の部）合計7,002,791円 －（支出の部）合計0円
＝ 7,002,791円を次年度繰越金とする。
※特別会計繰入金（次年度繰越金）は、定期預金として管理する。

（単位：円）

支出の部	令和元年度決算	令和2年度予算
学生活動支援費	5,151,277	5,500,000
就職・教育活動支援費	6,261,157	6,300,000
会員研修費	400,000	400,000
研究活動支援費	466,620	1,000,000
会　議　費	751,868	600,000
通　信　費	527,234	1,000,000
慶　弔　費	170,000	300,000
事務費負担金	500,000	500,000
広　報　費	899,600	1,000,000
雑　　費	143,225	250,000
卒業記念品代	1,115,840	1,500,000
特別会計繰入金	1,000,000	1,000,000
予　備　費	132,000	2,424,844
合計	17,518,821	21,774,844

※令和元年度決算（収入の部）合計21,218,565円 －（支出の部）合計17,518,821円
＝ 3,699,744円を次年度繰越金とする。

◆ 令和2年度 金城大学 学部・学科構成図 一覧

- 金城大学
  - 社会福祉学部
    - 社会福祉学科
      - 社会福祉コース
      - 生活支援コース
      - 医療情報コース
    - 子ども福祉学科
  - 医療健康学部
    - 理学療法学科
    - 作業療法学科
  - 看護学部
    - 看護学科
  - 金城大学大学院
    - 総合リハビリテーション学研究科
    - 総合リハビリテーション学専攻

◆ 令和元年度 金城学園 財務概要

事業活動収支計算書

（単位：千円）

科　目		金　額
教育活動収支	教育活動収入計	3,791,202
	教育活動支出計	3,664,462
	教育活動収支差額	126,740
教育活動外収支	教育活動外収入計	4,788
	教育活動外支出計	17,366
	教育活動外収支差額	-12,578
	経常収支差額	114,162
特別収支	特別収入計	17,873
	特別支出計	1,899
	特別収支差額	15,974
	基本金組入前当年度収支差額	130,136
	基本金組入額合計	-189,037
	当年度収支差額	-58,900

貸借対照表

（単位：千円）

資産の部	
科　目	金　額
固定資産	10,066,424
有形固定資産	9,330,079
特定資産	670,583
その他の固定資産	65,763
流動資産	2,821,590
資産の部（合計）	12,888,014

負債の部	
科　目	金　額
固定負債	1,576,833
流動負債	718,649
負債の部（合計）	2,295,482
純資産の部	
科　目	金　額
基本金	14,562,870
繰越収支差額	-3,970,337
純資産の部（合計）	10,592,532
負債及び純資産の部（合計）	12,888,014

※詳しくは、金城学園ホームページ（http://www.kinjo.ac.jp）をご覧ください。

令和元年度 卒業生の進路結果

社会福祉学部 社会福祉学科

職種別

職種	人数
介護職	29人
支援員	17人
相談員	2人
医療ソーシャルワーカー	3人
製造技術職	1人
営業職	5人
販売職	3人
事務職	19人
教員	2人
計	81人

企業

業種	人数
医療・福祉	4人
製造業	4人
金融業	2人
卸・小売業	8人
情報通信業	2人
宿泊飲食業	3人
複合サービス業	1人
サービス業	1人
人材派遣業	5人
計	30人

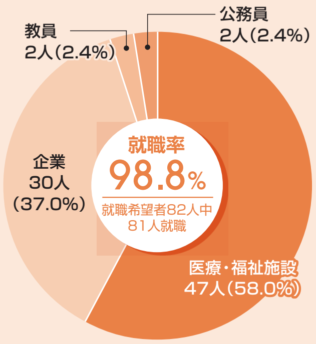
教員・公務員

教員	2人
公務員	2人
計	4人

医療・福祉施設

高齢者関連施設	25人
障害者(児)施設	17人
社会福祉協議会	1人
病院	4人
計	47人

就職率	98.8%
卒業生	85人
就職希望者	82人
就職者	81人



就職率98.8%＝就職者数81人÷就職希望者数82人×100

社会福祉学部 子ども福祉学科

職種別

職種	人数
保育士	6人
幼稚園教諭	4人
保育教諭	20人
相談員	2人
支援員	5人
販売職	3人
接客員	1人
事務職	2人
スポーツインストラクター	1人
計	44人

企業

業種	人数
医療福祉	2人
製造業	1人
卸・小売業	2人
情報通信業	1人
宿泊飲食業	1人
サービス業	1人
計	8人

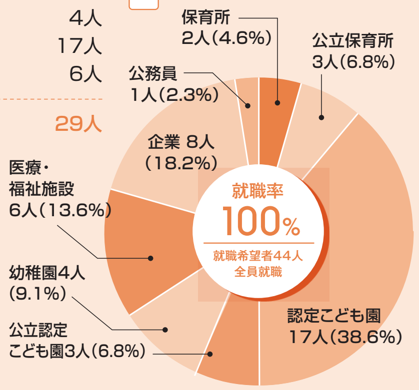
公務員

公立保育所	3人
公立認定こども園	3人
公務員(県庁職員)	1人
計	7人

保育所・幼稚園・認定こども園・医療・福祉施設

保育所	2人
幼稚園	4人
認定こども園	17人
障害者(児)施設	6人
計	29人

就職率	100%
卒業生	44人
就職希望者	44人
就職者	44人



就職率100%＝就職者数44人÷就職希望者数44人×100

医療健康学部 理学療法学科

職種別

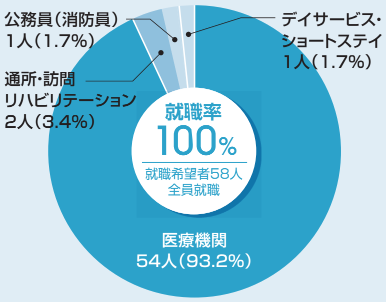
理学療法士	57人
消防員	1人
計	58人

医療・福祉施設

医療機関	54人
通所・訪問 リハビリテーション	2人
デイサービス・ショートステイ	1人
計	57人

公務員

公務員(消防員)	1人
計	1人



就職率	100%
卒業生 58人 就職希望者 58人 就職者 58人	

就職率100%＝就職者数58人÷就職希望者数58人×100

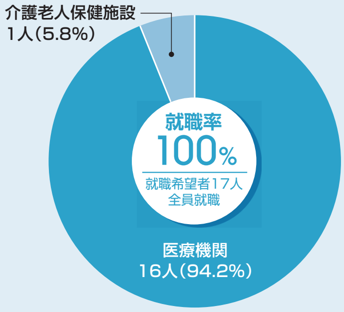
医療健康学部 作業療法学科

職種別

作業療法士	17人
計	17人

医療・福祉施設

医療機関	16人
介護老人保健施設	1人
計	17人



就職率	100%
卒業生 17人 就職希望者 17人 就職者 17人	

就職率100%＝就職者数17人÷就職希望者数17人×100

看護学部 看護学科

職種別

看護師	73人
計	73人

医療・福祉施設

病院	73人
計	73人

進学

	3人
計	3人

就職率	100%
卒業生 76人 就職希望者 73人 就職者 73人	

就職率100%＝就職者数73人÷就職希望者数73人×100

新任・退任教職員紹介

医療健康学部　野村 隆士　教授

専門分野　細胞生物学、解剖学、生理学

担当科目　生理学（社会福祉学部）、解剖生理学Ⅰ・Ⅱ（看護学部）、人類遺伝・発生学（看護学部）　他

いろいろな大学・専門学校にて、解剖学・生理学を中心とした医学系の教育を20年近く務めてきました。今年から金城大学において、とても多くの科目を担当させていただくことになりました。教育・研究に精進したいと思います。よろしくお願いいたします。

社会福祉学部　荻原 園子　助教

専門分野　社会福祉学・社会福祉史

担当科目　社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉史、ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ

初めて石川を訪れたのは、今年の3月のことでした。学ぶことの楽しさを伝えながら、一歩ずつ、対話を大切にして、良い社会福祉の担い手を送り出していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉学部　辻岡 和孝　講師

専門分野　医療情報システム

担当科目　医療管理各論Ⅰ・Ⅲ、基礎ゼミⅠ・Ⅱ

医療情報に携わって25年、一層の発展が見込まれるこの分野において自己鍛錬を継続すると共に、教育を通じて社会貢献できる人材の育成に努めていきたいと存じます。ご指導の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。

社会福祉学部　小髙 実咲　助手

専門分野　高齢者介護

介護の現場で得た知識や技術、介護の魅力を少しでも多くの学生に伝えていきたいと思っております。教育に携わるのは初めてですが、精一杯努めてまいります。よろしくお願いいたします。

社会福祉学部　浅井 和毅　助手

専門分野　保育、幼児教育

金城大学を卒業後、5年間こども園にて保育教諭として勤務していました。そして今年度4月より金城大学で働かせていただくことになりました。卒業生として在学中の経験や、元保育教諭として現場での経験などをもとに学生に寄り添い、ともに成長していけたらいいなと思っています。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

看護学部　子吉 知恵美　講師

専門分野　在宅看護学

担当科目　在宅看護論、在宅看護演習、在宅看護学実習

COVID-19で未曽有な事態を巻き起こしている時期に異動し、最初は戸惑いと混乱をきたしておりました。数か月が過ぎ、今後は、これまでの教育経験を活かし、学生さんの学ぶ意欲・学ぶ力を引き出せるよう邁進していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

看護学部　竹内 陽子　講師

専門分野　精神看護学

担当科目　精神看護論、精神看護学演習1、精神看護学演習2、精神看護学実習、ボランティア活動Ⅱ、卒業研究ゼミ

病院や地域の方々に「金城大学を卒業した看護師さんは良いわ～!」と、常に言ってもらえるような「金城大学看護学部」を思い描いています。患者さんの心を癒せる素敵な看護師の育成を目指して、一教員として微力ながら頑張りたいです。

看護学部　磯 光江　講師

専門分野　高齢者看護学

担当科目　高齢者看護学演習、高齢者看護実習Ⅱ、統合実習、卒業研究ゼミⅠ

教員歴6年目になります。これまでの自分の知識・経験と学生さんたちの新鮮かつ斬新な発想を生かしながら高齢者看護演習や実習に取り組んでいきたいと思います。よろしくお願い致します。

職員　棚口 瞳

所属部署　入試広報部

3年間の派遣期間を経て正規採用となりました、棚口です。これまでと異なり、仕事の幅が広がったことで自分に至らない点が多々あると思いますが、早く現状に慣れて戦力となれるよう邁進してまいります。

職員　米原 有紗

所属部署　保健管理センター

この度、保健管理センター職員として着任させていただきました。新型コロナウイルス感染症が流行している中で、学生・教職員の皆様の健康を守っていけるように努めたいと思います。よろしくお願いいたします。

職員　西野 茂

所属部署　管財部

夢を追いかける未来ある学生の皆さんの為に気持ちよく学べる環境作りのお役立ちが出来る様、頑張っていきたいと思います。
どうぞよろしくお願い致します。

退任教職員

社会福祉学部の**中谷 真央助手**、事務職員の**山下 曜子さん**（保健管理センター）が令和2年1月末で、看護学部の**越納 美和助教**が令和2年2月で、社会福祉学部の**元村 智明准教授**、医療健康学部の**小山善子特任教授**、看護学部の**高山 成子教授**、**森 啓至教授**、事務職員の**山本 勇輝さん**（総務企画部）、**米村 章一さん**（管財部）、**干場 あゆみさん**（入試広報部）が令和2年3月末で、退職されました。

新型コロナウイルス感染予防対策について

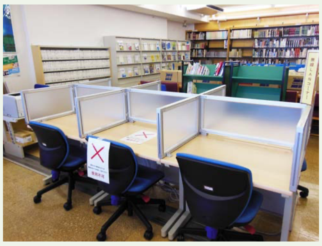
◆Kinjo Infection Control Team (KICT)の発足と活動について

学長　前島伸一郎

ご存知のように新型コロナウイルスの感染拡大は、日常生活や社会・経済活動のみならず、あらゆる分野に影響を及ぼしています。

本年3月、世界保健機構（WHO）はパンデミックを宣言し、4月には本邦で特別措置法に基づき緊急事態宣言が出されるなどの措置がとられ、専門家会議からは3密（密集・密接・密閉）を避けるように提唱され、政府は在宅勤務を含むテレワークを推奨していますが、感染者は全世界で4千500万人（死者120万人）に到達し、今なお増え続けております。

この間、金城大学においては、卒業式の縮小、入学式や公開講座の中止などの対応に追われました。また、連休明けより遠隔授業を開始していたわけですが、医療・福祉を専門とする本学においては、実習や演習は必要不可欠の修学科目となります。そこで何とか対面授業を実施できないだろうかと考え、学内の医師、看護師、研究者などの専門職から構成する「金城感染制御チーム（KICT）」を立ち上げました。その目的は、安全な学習環境を提供するために、学内の感染予防ラウンドや環境パトロール、アンケート調査による教職員や学生の感染対策への実態調査、教職員や学生に対する研修会による感染予防の教育などです。本学ではこのような全学的な感染予防対策を実施した上で、北陸地区ではどこよりも早く対面授業を再開することができました。我々に求められるのは、これまでの生活を取り戻すことではなく、一歩踏み出した新しい生活様式を身につけるべく、行動変容を行うことです。学内における感染症対策は環境整備と行動変容が最も大切であります。ご家族の皆さまにおかれましても、なお一層、ご家庭における感染防御への取り組みをお願いしたいと思います。



金城感染制御チーム(KICT)

◆メンバー◆

加藤 博、前島 伸一郎、野村 忠雄、野村 隆士、山根 淳子、野上 悦子、山本 拓哉、藤田 ひとみ、米原 有紗、福田 千加子、久野 光広、表 健生、金城 利雄、木林 勉、加納 宏志、吉岡 利恭

（敬称略）

豆知識　アルコールによる手指消毒について

医療健康学部 教授　野村隆士

この頃、スーパーやショッピングセンターなどの出入り口で、アルコールによる手指消毒を行うことが一般的になってきました。もちろん、本学でも校舎の出入り口、教室の出入り口にはアルコール消毒薬が設置されており、学生さんはもちろん、教職員も入室時にはアルコールによる手指消毒を行っております。

このアルコール消毒ですが、どのような病原微生物に効果があるのでしょうか。細かい話は省きますが、ウイルスに関して言えば、ウイルスの一番外側に脂質の層（これをエンベロープといいます）を持っているエンベロープウイルスには有効な消毒法です。例えば、コロナウイルス、インフルエンザウイルス、HIVなどです。しかし、エンベロープを持たないノロウイルス、A型肝炎ウイルスなどはアルコールに抵抗性を示します。脂質はアルコールに溶けてしまいますので、エンベロープウイルスはアルコールによって、無毒化できるわけです。そのため、現在問題になっているコロナウイルスや、これから流行が懸念されるインフルエンザウイルスには、アルコール消毒が有効です。ご子息・ご息女だけではなく、ご家族みんなで積極的にアルコール消毒を行って感染防止に努めたいものです。

◆卓球部の感染予防対策

社会福祉学部 教授　山根淳子

金城大学には様々なクラブやサークルがあり、学生のキャンパスライフを豊かにしています。しかし、コロナ禍により今年度はすべての活動をいったん中止せざるを得ませんでした。現在は、感染予防対策が万全であることを確認したうえでクラブ、サークルの一部が活動を再開しています。

今回、再開したクラブの中から卓球部の感染予防対策を紹介します。

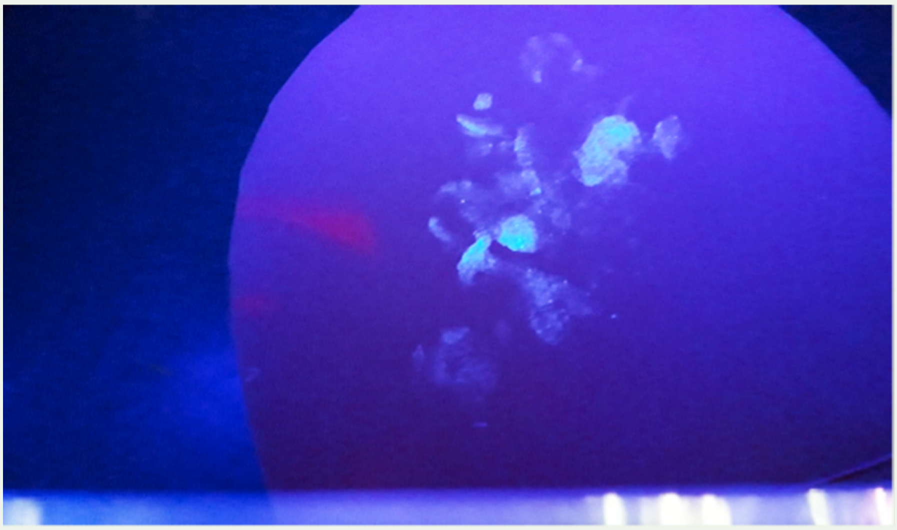
競技で使用するピンポン玉は、アルコールで変質するため日本卓球協会推奨の界面活性剤で洗浄し、卓球台は専用のアルコール消毒剤を使っています。ウイルスを除去することに加えて大切な道具を傷めない配慮です。練習後は、道具だけでなくアリーナのドアノブ・スイッチ・トイレのスリッパなど触れたところ全てを消毒しています。また、密接となるダブルスの練習はしない、練習中以外はマスクを装着するなど飛沫感染を防ぐことにも気をつけています。

十分な感染対策を講じていますが、さらに感染予防学習として蛍光塗料とブラックライトを使ってウイルス（蛍光塗料）が学生の手に付着したらどのように広がるのか、ラリーを行い実験しました。その結果、ピンポン玉を介して相手学生のラバー、卓球台などに多数付着がみられました。容易に汚染が広がることを知り、道具等の消毒や手指衛生の大切さを実感しました。

今、どのクラブ・サークルもたいへん窮屈な思いで活動していることでしょう。感染症対策に困ったらKICTにご相談ください。一緒に考えましょう。

▼界面活性剤で洗浄している様子

▼対戦相手のラバーの付着



マスクについて一言

看護学部 准教授　野上悦子

マスクの装着がすっかり日常となりました。カラフルでおしゃれなマスクや手作りもよく見かけます。

アメリカの大学の研究によると、簡易マスクとしてポリエステルを素材とするネックウォーマーなどを使用した場合、大きな飛沫が細かく分解されてより拡散するため逆効果であること、マスクは綿素材を重ね使いする方がより効果的であることが示されています。

日本にはマスクの品質を保証する明確な基準がなく、マスクの良し悪しを一概には言えませんが、自分が発する飛沫を周囲の人に暴露させないためには必須アイテムです。

ウイルスの大きさは100㎛単位というイメージさえできないミクロなサイズですが、それが飛沫となると、水分を含み大きな塊となります。ウイルスは飛沫に含まれて飛散します。

また、先日のニュースで、スーパーコンピューター富岳のシミュレーションにより、乾燥した空気の方が飛沫は細かくなり、より長く飛散するという結果を紹介していました。これから乾燥する冬の季節を迎えます。より一層正しいマスクの選択と装着が必要になります。

マスクを装着した者同士の感染リスクは、万一どちらかが感染者であっても「低リスク」ですが、一方がマスク未装着の場合、感染リスクは「中リスク」となり、双方とも未装着では「高リスク」です。

今は、無症状のままいつの間にか自分が感染していてもおかしくない状況です。自分の飛沫を飛散させないために、人と会話する時は、効果のあるマスクを正しく装着しましょう。

裏表紙に続く

◆後期の授業実施方針に関する調査の結果（9月15日）

医療健康学部 講師　山本拓哉

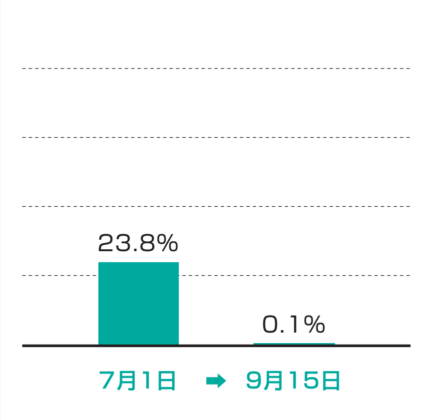
今年度は新型コロナウイルスの影響で大学の授業形態が大きく変化しておりましたが、緊急事態宣言解除後、少しずつ本来の形に戻りつつあります。

文部科学省による大学等を対象に行った後期の授業実施方針に関する調査の結果（9月15日）では、「全面遠隔授業」は7月1日時点での23.8%から0.1%（図1参照）に減少し、「全面対面授業」は16.2%から19.3%（図2参照）、「対面と遠隔の併用」60.1%から80.1%（図3参照）とそれぞれ増加しています。本学も6月上旬より対面授業が再開し、後期も対面授業を中心とした授業を実施しています。学内の新型コロナウイルスへの感染対策としては、手指消毒、マスク着用、距離の確保、体調・行動確認、授業前後での教員からの指導などを徹底しております。

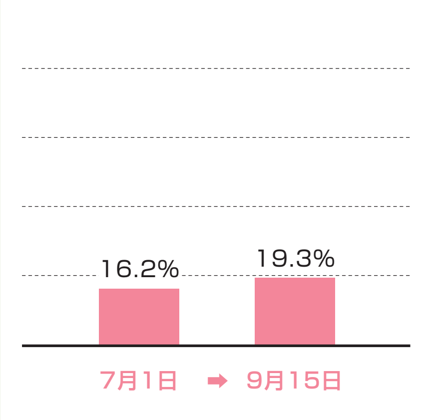
また夏季休暇中には、学外実習やその代替となる学内実習を実施しました。学生の事前アンケートでは「学外での実習を行うことへの感染の不安や自分が患者さまや施設に迷惑をかけるのではないかという心配」の声がありました。そのため実習前には、現場の感染対策の現状を伝え自信を持って実習に臨めるよう感染対策事前指導を実施しました。実習が無事に終了したことは、施設のご指導・ご協力とともに学生1人1人が意欲的に取り組んでくれたからだと思います。

今後も新型コロナウイルスの感染対策は必要となり、学生や保護者の方々の様々な不安が解消されることは難しいと思われます。大学としても感染対策を徹底し、学生達が安心・安全に学べる環境を構築していきたいと思います。

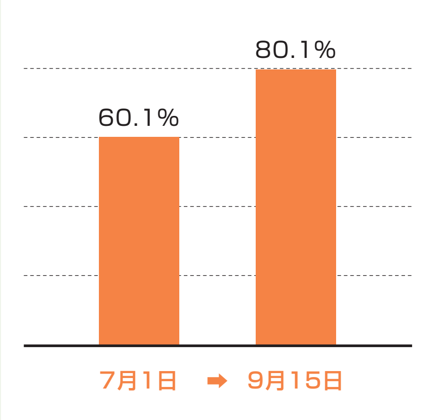
【図1】全面遠隔授業



【図2】全面対面授業



【図3】対面と遠隔の併用



金城学園の建学の精神・金城大学の設立の理念など

金城学園	建学の精神	遊学の精神の涵養 何ものにもとらわれず、自由に広く世の中を見聞し、人格を高め磨いていくこと。 良妻賢母の育成 周りの人々がより良く幸せに生きるための支えとなる人材を育成すること。
金城学園	教育理念	**創始者：加藤廣吉・せむ** 率先垂範、質素勤勉 **二代目：加藤二郎** 教育とは 云うてきかす事ではない。して見せる事でもない。している事である。 **三代目：加藤晃** 教育とは先生と学生の全人格のぶつかり合いの中から生まれてくる学生への影響、それも何らかのよい影響である。
金城大学	設立の理念	明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在の養成
金城大学	目的及び使命	教育基本法及び学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を養い、文化の向上及び社会の福祉に寄与する人材を育成することを目的とする。 （学則第1条）

大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

入試広報部	フリーダイヤル 0120-276-150	TEL 076-276-5175（直通）	FAX 076-275-4316	E-mail nyushi@kinjo.ac.jp

KIND
金城大学後援会 会報誌【KIND】第31号 令和2年10月31日発行　編集兼発行:金城大学後援会 事務局
(学)金城学園理事長 加藤真一・金城大学学長 前島伸一郎・後援会会長 髙松喜与志（髙松機械工業株式会社 代表取締役会長）
〈笠間キャンパス〉石川県白山市笠間町1200　TEL 076-276-4400　FAX 076-275-4316　〈URL〉http://www.kinjo.ac.jp/ku/kouenkai/
〈松任キャンパス〉石川県白山市倉光1丁目250 TEL 076-276-6630　FAX 076-275-6651　〈E-mail〉u-koenkai@kinjo.ac.jp